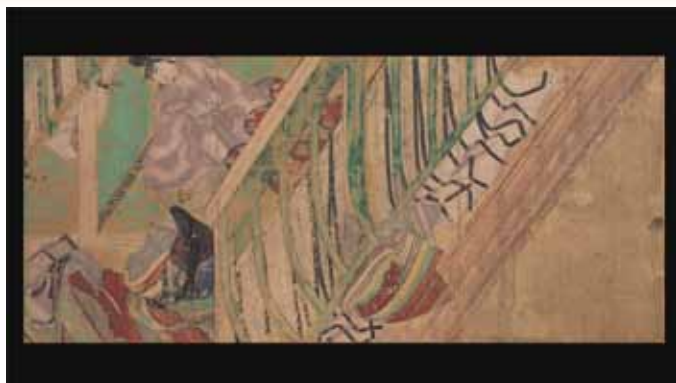


8K 番組 「国宝 源氏物語絵巻」 試写会



作品名「柏木 三」(縦 21.9cm 横 48.5cm) : 徳川美術館所蔵



冠の際から耳の付け根までわずか 5mm (赤い線)。ここに墨の線で 40 本以上もの鬢(びん)が描かれているのが見える。(「柏木 三」より) : NHK 提供

8K 番組「国宝 源氏物語絵巻 The Tale of Genji Illustrated Scrolls」(50 分 00 秒) 試写会は、4 月 6 日放送センター、オーディションルームで行われた。

NHK は、名古屋市の徳川美術館の協力のもと、同館所蔵の「国宝 源氏物語絵巻」を初めて 8K 撮影した番組を制作した。

「国宝 源氏物語絵巻」は、紫式部が著した「源氏物語」を 12 世紀前半に当時の宮廷で絵画化した国内最古の物語絵巻である。完成時は 100 面を超える大作だったと考えられているが、900 年の年月を経てその大半が失われてしまった。現存する絵は 19 面。そのうちの 15 面を徳川美術館が所蔵している。

2016 年 3 月、同館所蔵の 15 面すべてを初めて 8K カメラで撮影した。超高精細映像が浮かび上がらせたのは、肉眼では見えない精緻な筆使い。その繊細な描線は、平安時代の絵師達の息遣いをも感じさせる。

8K 映像によって、美術館で本物を見る以上に、圧倒的な臨場感で国宝絵巻を堪能できた。

音声は、22.2 マルチチャンネルによる三次元音響。清水靖晃氏、作曲によるオリジナル楽曲に乗せて、木村多江とオダギリジョーによる語り、平安王朝の雅(みやび)な世界へといざなう。

◆ 8K 映像が映し出した細密描写

「柏木(かしわざ)三」に描かれた光源氏の顔を 8K カメラで撮影。

冠の際から耳の付け根までわずか 5mm。ここに墨の線で 40 本以上もの鬢(びん)が描かれているのが見える。

◆ 作品世界への没入感を高めるため、絵巻の接写と実景映像のみで番組構成

これまでの美術番組やドキュメンタリー番組とは異なり、ナビゲーターや専門家の出演はなしとし、8K 映像の魅力を最大限生かし、絵巻の接写と、ススキや花、月などの実景のみで構成した。としている。

徳川美術館での絵巻接写撮影(2016 年 3 月)、奈良県の曾爾(そに)高原でのススキ撮影(2016 年 11 月)。

◆ 撮影にあたってのエピソード

徳川美術館では、年に一度 3 面くらいずつ一般公開している。

記録フォーマットは、P2 フォーマットで、撮影、編集は NHK 内部で行った。

絵巻の撮影に関しては、文化庁の許可をもらい、学芸員の方々の立ち会いのもと撮影の環境を整えてもらい、準備も含め 4 日間かかった。レプリカを置いてかなり練習をしてから本番に望んだ。撮影には実質 2 日間を要した。

絵巻を台の上に斜めに置き、8K 標準レ



「国宝 源氏物語絵巻」タイトル画像 : NHK 提供

ンズにクローズアップレンズを付けて、国宝からレンズの先まで 70 ~ 80cm 位まで迫って撮ることができた。ライティングは LED で行ったことにより、照度を稼ぐことができた。被写界深度が浅いので映画のフォーカスマンが、中央、左、右とメジャーで測り角度も分度器を使うなど、普段あまりやらない方法で丹念に撮影した。

絵巻の修理にあたっては、絵の具の退色や、剥がれ落ちたものはそのままに、紙のシワを伸ばしたり、剥がれ落ちそうな絵の具を押さえたりと、学芸員の方は、修復や復元ではなく修理という表現をしていた。

学芸員の方々は、普段はルーペなどで拡大して観ていると思われるが、この 8K の映像を観て、全く印象が違うと語っていた。

「柏木 二」という作品では、桜の花びらの向こうに緑が観え、肉眼では何度も観ているはずなのに、新たな発見ができたと驚いていた。としている。